

I 基本方針

科学の進歩と技術革新は、人類の様々な課題を克服する鍵であり、歴史の多くの場面で科学の進歩が技術革新を促進し、新しい産業や快適な生活を創出するなど、社会経済の発展に大きく貢献している。

茨城県には、世界的な研究拠点である筑波研究学園都市をはじめ、東海・大洗・那珂地区の原子力研究機関、日立地区、鹿島地区の先端産業など、広範多岐にわたる科学技術・産業技術が集積し、本県から発信される研究開発や技術革新の情報は世界的に注目されている。

更に、本県経済の発展のためには、本県の中小企業の成長による内発的な産業の発展を図ることが重要である。

このような中、本県における科学技術の基礎的・創造的な研究開発の推進及び研究体制の強化を促進し、県内の科学技術の振興に寄与することを目的として創設された当財団は、その設立の目的を達成するため、次の基本方針により活動するものとする。

- (1) 県や研究機関等と連携して多分野の研究者や技術者の交流を支援するとともに、グリーン・イノベーション〔環境・エネルギー分野の技術革新〕とライフ・イノベーション〔医療・介護分野の技術革新〕を推進する。茨城県や国などの産学官の機関と連携し、科学技術の振興、ひいては県内産業の振興を図っていく。
- (2) 研究開発を奨励するため、世界的に評価を受ける研究成果を収めた研究者、研究内容が実用化されるなどの成果を収めた研究者及び将来を嘱望される若手研究者を顕彰する。
- (3) つくば国際会議場において、「つくばコンgresセンター」の代表団体として、国際会議等の誘致及び利用促進を図る。
- (4) つくばサイエンス・アカデミーでは「研究者相互の交流促進」という理念に沿って科学技術の振興に寄与する。
- (5) 県内に集積しているロボット技術を活用して、生活支援ロボットの研究開発に取り組むことにより茨城発の最先端ロボット技術の実生活への普及や、地域産業への波及を促進する。

II 事業の概要

1 一般会計事業

(1) 科学技術振興事業

- ・科学技術の発展に資するため、研究者の交流や科学技術の啓蒙活動、企業との交流を促進する。
- ・科学技術イノベーション〔技術革新〕に対する期待（地球規模の諸問題の解決、新たな経済成長の柱）があるなか、成長の柱としてのグリーン・イノベーション〔環境・エネルギー分野の技術革新〕とライフ・イノベーション〔医療・介護分野の技術革新〕を推進する。
- ・茨城県や国などの産学官の機関と連携し、科学技術の振興、ひいては県内産業の振興を図っていく。

(2) つくばサイエンスツアー推進事業（県受託事業）

筑波研究学園都市に集積している研究機関等を貴重な地域資源として捉え、公開施設の拡大を促進し、見学モデルコースの設定、見学相談等に対する一元的な情報提供等を行い、県内外からの誘客促進と科学技術の普及啓蒙を図る。

(3) 茨城県次世代エネルギーパーク推進事業（茨城県次世代エネルギーパーク推進協議会受託事業）

次世代エネルギーパーク関連施設の紹介、見学モデルコースの設定等情報提供を行う次世代エネルギーパークインフォメーションセンターを設置・運営し、次世代エネルギーの普及促進、エネルギー教育機会の創出及び施設見学者の受け入れ拡大を図る。

2 研究開発奨励事業

(1) 江崎玲於奈賞事業

ナノテクノロジー分野において顕著な研究業績を挙げた者を顕彰する賞を創設することにより、科学技術の振興、ひいては産業の活性化に寄与する。

① 授賞対象

日本国内の研究機関においてナノサイエンスあるいはナノテクノロジーに関する研究に携わり、世界的に評価を受ける顕著な研究業績を挙げた研究者、原則1名

② 賞 等 本賞（賞状）、副賞（1,000万円）、賞牌

③ 主 催 （財）茨城県科学技術振興財団、つくばサイエンス・アカデミー

後 援 文部科学省、日本放送協会、茨城県

協 賛 関彰商事株式会社

(2) つくば賞事業

茨城県内において、科学技術の研究に携わり、顕著な研究成果を収めた研究者を顕彰することにより、県内研究者の研究意欲の向上を図るとともに、本県の科学技術の水準を高める。

① 授賞対象

対象分野は自然科学分野とし、次のいずれかに該当する者。（1人又は1グループ）

- ・本県内において研究活動を行っている研究者（過去の研究活動を行った研究者及び複数の研究者のグループを含む。）であって、世界的評価を受ける優れた創造的研究・開発成果を上げた者。

- ・ 世界的評価を受ける特に優れた創造的研究・開発成果を上げた研究者であって、その内容を本県内で開催される国際学会において初めて発表した者。

② 賞 等 本賞，副賞（500万円），賞牌

③ 主 催 （財）茨城県科学技術振興財団，つくばサイエンス・アカデミー
共 催 茨城県，つくば市

(3) つくば奨励賞事業

茨城県内において科学技術の研究に携わる研究者を顕彰することにより科学技術の振興を図るため、優れた創造的研究・開発成果を上げた者、又は、今後飛躍的な研究成果を期待できる若手研究者を顕彰する。

① 授賞対象

対象分野は自然科学分野とし、次の各部門にそれぞれ該当する者。（各部門ごとに年間1人又は1グループ）

- ・ 実用化研究部門

本県内において、研究活動を行っている研究者（過去に研究活動を行った研究者及び複数の研究者のグループを含む。）であって、その研究成果が実用化される等、県内の科学技術の振興に寄与した者。

- ・ 若手研究者部門

本県内において、研究活動を行っている若手研究者（40歳以下）であって、今後飛躍的な研究成果が期待できる者。

② 賞 等 本賞，副賞（100万円），賞牌

③ 主 催 （財）茨城県科学技術振興財団，つくばサイエンス・アカデミー
共 催 茨城県，つくば市

3 霞ヶ浦水質浄化プロジェクト事業

霞ヶ浦など汚濁湖沼水域の水環境修復の技術開発を行う中核機関として、地域結集型共同研究事業や、霞ヶ浦バイオマスリサイクル開発事業等の共同研究事業に取り組んできた。その結果、技術開発の成果を上げるとともに、ベンチャー産業の創出など新産業の活性化等に大きな貢献があり、地域住民への普及啓発においても一定の役割を果たしてきたことから、平成21年度末をもって事業終了とし、これまで蓄積されてきた成果や人的・組織的ネットワークは、茨城県霞ヶ浦環境科学センターで引継ぐこととした。

今後は、同センターにおいて研究成果等の活用普及を図るとともに、研究設備等の処分を行う。

4 つくば国際会議場管理運営等事業

つくば国際会議場の指定管理者であるつくばコンgresセンターの代表団体として、構成団体間の総合調整及び総務事務、催事管理、会議の誘致等の財団所管に係る指定管理業務を実施する。

また、平成23年度は指定管理受託の2期目初年度であるが、より一層のつくば国際会議場の役割である「学術研究交流の推進」「国際交流の推進」「地域や企業等との交流推進」「地域経済への寄与」「県民の文化水準の向上」を踏まえた運営を行う。

- ・ 指定管理業務実施に係る県との調整
- ・ 施設等の利用承認及び取り消し等に関する業務
- ・ 利用料金の収受に関する業務

- ・ 催事開催についての相談・調整に関する業務
- ・ 学術会議等の誘致に関する業務
- ・ 会議場利用者への支援業務

5 つくばサイエンス・アカデミー事業

(1) 研究・交流促進事業

- ・ 「江崎玲於奈賞」「つくば賞」等の顕彰事業（再掲）
- ・ SATフォーラム2011
- ・ SATつくばスタイル交流会
- ・ 賛助会員交流会
- ・ 賛助会員訪問
- ・ 自然科学部員特別指導事業
- ・ 広報活動

(2) テクノロジー・ショーケース運営事業

つくばの各機関等と連携して研究者間の交流, 研究成果を産業に活かすための企業との交流を促進する。

TXテクノロジー・ショーケース in つくば2012

日 程 : 平成24年1月中旬

担当機関 : (独) 宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター

(3) ライフ・イノベーション関連展開可能性調査事業

ライフ・イノベーションを推進していくため, 他分野との交流等を通して今後つくばや茨城県が取るべき方向性を検討するとともに, 優秀な若手研究者を広く周知していく。

- ・ ライフ・イノベーション関連展開可能性調査事業検討委員会
- ・ 分野横断イノベーション課題検討会
- ・ ライフ・イノベーション関連書籍の発行並びにメルマガ及びホームページでの配信

6 生活支援ロボット研究開発推進事業

生活支援ロボットの実生活への普及促進のため, ロボットの実証研究を通じ, 運用事例づくりやロボットの機能向上・改良に向けた研究開発を行う。ロボットはサイバーダイナミクス株式会社のロボットスーツ「HAL」30体を活用する。

事業の実施は, サイバーダイナミクス社へ委託し, 県立医療大学と連携して事業に取り組む。

(1) 研究開発業務

HALを県立医療大学や県内の医療機関・福祉施設等に配置し, 実証研究を通じ, 運用事例づくりやロボットの機能向上・改良に係る研究開発を行う。

(2) 普及啓発業務

HALを活用して, 医療機関や公共の場において, 実生活への利用を促進するためのデモンストラーションを行うことにより, 生活支援ロボットの普及・広報活動を計画的に行う。